

設計士とつくる、素敵な家。



Kitchen

1. キッチンが家の雰囲気に合わせ、木製のものに[長崎材木店]が造作。作業台の下は愛犬のマッシュちゃんのフードコーナーとして活用。/ 2. 土地の形に合わせて細長くした空間にはキッチン、ダイニング、リビングを縦にレイアウト。/ 3. 広いスペースを確保した庭。/ 4. 玄関横の和室はゲストルームとしても活躍。/ 5. 土間のような落ち着きとゆとりのある玄関

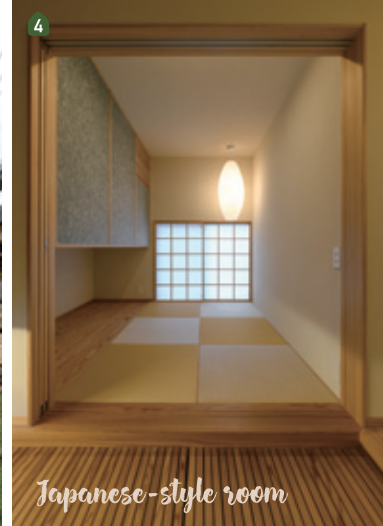
木の温もりと
優しい明かりに
心やすらぐ



LDK



Exterior



Japanese-style room



Entrance



糸島市 M邸

ヴィンテージ家具が似合う
遊び心満載の家

Kitchen & Dining

梁を出した天井と、ダイニングとリビングを横み分けるような丸い柱が暖かみのある空間に。一体感あるキッチンとダイニングも一家のお気に入り



リビングの入口を覗くと、縦長に続く特徴的なLDKが。二方向に勾配した板張りの天井やヴィンテージ家具の、木の温もりあふれる雰囲気が広がる

「長崎材木店のショールームやパンフレットで紹介されている家が、こんな家が良いな」という私たちが思い描くイメージにぴったり。ここだったら私たちの希望を叶えてくれるのではないかと期待が膨らんだんです。それから現在の土地を見つけ、静かな町の雰囲気と利便性が気に入って、長崎材木店と共に本格的な家づくりが始まりました。

と聞いていたんです。転勤が無くなったので娘が小学校に入る前に家を建てようと思いつき、土地探しを始めました」とご主人が振り返る。土地探しと並行してスタートしたのが家づくりのパートナーとなる工務店探し。ご夫婦の意見が合致したのが「木の家」に強い工務店だったそう。雑誌やネットで会社を探し、何件か足を運んだ中で出会ったのが「長崎材木店」だった。

とつぷりと日が暮れた郊外の住宅地、その一角に見えるのは暖かな光を放つ1軒の家。窓から見えるのは、Mさん家族3人と愛犬のマッシュちゃんが暖炉の前で寛ぐ姿。窓越しから見える光景からも、楽しい笑い声が聞こえてくるようだ。ご主人が転勤族だったため、日本全国を渡り歩いてきたというMさん。転職することになり、腰を据えて暮らす土地として「糸島」を選び、家づくりを考え始めたと言う。「10年ほど前、少しかだけ福岡市西区で暮らしたが、あまり長く住むなら福岡の西の方がいいな

糸島で見つけた理想の土地
建てるなら「木の家」を



「火を見て癒されたかった」と、ご主人が強く希望した薪ストーブ

設計士とつくる、素敵なお家。



11. 家の中も外も、照明にまでとことんこだわりの見せたのもM邸の特徴。「居酒屋の赤ちょうちん風」とリクエストしたのが、軒下の照明。暖色の明かりがくつろぎ感ある雰囲気に。／12. 部屋の中央に並ぶペンダントライトが楽しい空間を演出

打ち合わせから生まれた自由な設計がそこに

2階には奥さまと娘さんの個室があり、将来的に部屋を分けられる造りに。隣には室内干しやライブラリーとしても使えるフリースベースが設けられた。ウォークインクローゼットの一角には隠れ家のようなご主人の寝室があるのもユニーク。そのような自由な間取りや設計は、「とにかく面白かった」という打ち合わせから生まれたものだとご夫婦が教えてくれた。

「ネットやSNSで見つけた写真をお見せしながら『こんな感じで』と感覚や雰囲気希望を伝えたのですが、設計士さんはこちらの意図を上手く汲み取ってくださって。時には『こんなのはどうですか?』とこちらが思いつかないユニークな提案をしていただき、一緒に楽しみながら家を作り上げることができました。」

カーテンはあえてレールを付けずに紐で吊るすタイプにしたり、LDKの天井の梁いっぱいにはライティングレールを取り付けてペンダントライトをたくさん取り付けたらいい。遊び心のある要素がふんだんに詰め込まれた住まいには、家族の笑顔が満ちあふれていた。

「長崎材木店のわたしたち3名がM邸を担当しました」



設計士 八川 一郎

「場所を読み解く」すべての家づくりに共通するのですが、その敷地のどこに建物を配置し、庭をどこに作って、駐車場をどこに、が大変重要になってきます。その後に関わりとのバランスを確認し、外と内をつなげる作業を行なってまいります。ここで楽しいイメージが出来るかがキーポイントです。今回、M邸は1階にリビング、ダイニング、キッチン横並びにレイアウト、すべての場所から屋根のある下屋空間を挟んで外部空間とつなげています。下屋という、あいまない空間こそが内と外をつなぐ重要な役割を果たしています。



設計士 堀井 裕章

初めてお会いしてお話を聞いたときから明確にお客様の住みたいイメージが頭の中に浮かびました。そこでM様の家をぜひ長崎材木店で建てて頂きたいと打ち合わせをスタートさせました。打ち合わせはとにかく楽しく進み、長崎材木店のこだわりとちょっとした無茶振りを快く取り入れてくださり、さらにそこにM様のこだわりも加わって絶妙なバランスで完成しました。出来上がったお家はどうか懐かしくもあり、もう何年も前からその場所に立っていたかのような佇まいです。これからも大切にしていっていただけたら嬉しいです。



技術管理 丸尾 孝

家族みんなが集うリビングがちょっと特殊な配置ですが、見えない部分をどう納めるか、見える部分をどう納めるかが悩み所です。たとえば階高が低いとプロポーションは良いが他の見えない部分の納まりに弊害が出てきてしまいますが、設計士と密な打ち合わせをし納めていくのが私たちの技術の見せ所です。設計士が打ち合わせをしたお客様のこだわりをどう形にするかを平面から空間に変え、また庭、家族が集う空間の仕上がりイメージしながら施工を進めていき、最終的にお客様の要望通りに夢を形に変え、喜んで頂いた物件です。



Lavatory



Bedroom



Kitchen



Storage



Workspace

6. ヴィンテージなミシン台を作業台に活用した脱衣洗面スペース。／7. キッチン側の壁にはアンティーク調タイルを採用。奥さまの背丈に合わせて高さも調整。／8. 2階の寝室は、木製の柱を入れた小さなコーナー窓がアクセントに。／9. 棚を造作したキッチン横のパントリーも木に囲まれた心地よい空間に。／10. 勝手口を兼ねたダイニング横の土間は荷物を出し入れしたり、DIYをしたり、マッシュちゃんのお手入れをしたりと大活躍

「転勤族だったので、どうせ引っ越すから」と、ずっと好きな家具や雑貨を我慢していたんです。だからマイホームが出来たら好きなものをたくさん置きたくて。揃えたインテリアが似合う空間になって嬉しいですね。キッチンもオープンな造りになっているので、空間に統一感が出るように木材で造作していただきました」と奥さまが微笑む。

ご夫婦共に気に入っているのが、1階のLDK。土地の形状に合せて細長い空間になっているのが特徴で、庭を見渡すように前面いっぱい大きな窓が設けられている。中央ではご主人お気に入りの暖炉が存在感を放ち、天井の無垢材や淡いグレーの壁、キッチン側のレトロなタイルによって温かみのある空間を演出。そこにはヴィンテージ感漂う家具やインテリアが配され、まるでカフェや雑貨屋さんのようにワクワクする。

ヴィンテージ家具が似合う温もりあふれる空間を演出

暮らしやすさも楽しさも。どちらも譲らない





Build a house
with an architect

長崎材木店の

設計士とつくる、素敵な家。



毎週土日でも平日も設計士と家の話ができる無料相談会やってます。まずはお気軽にお電話ください。

長崎材木店
一級建築士事務所

NAGASAKIZAIMOKUTEN ARCHITECT OFFICE

◎福岡東スタジオ 〒811-3101 福岡県古賀市天神5-10-3
◎筑紫野スタジオ 〒818-0059 福岡県筑紫野市塔原東3-15-1

ご予約はこちらから!

TEL 092-942-2745

9:00~18:00(水・木定休)

Homepage



instagram



明治30年に材木商として創業。設計事務所と工務店の良いところが二つになった注文住宅専門店だ。木の家を基本に、長年積み上げてきた経験で目利きした自然素材を用い、「素敵な暮らし」というコンセプトのもと平屋やデザイン住宅、ガレージハウスなど、幅広い注文住宅の設計施工を行なう。設計士が直接お客さまに対応することにもこだわり、何気ない会話や家族とのやり取りから、知識と経験をもとに二人ひとりの想いを汲み取って設計に活かしていく。スタジオには保育士が常駐し、お子さんは打ち合わせ中に楽しく遊んで思い出作りができるのも魅力だ。「そろそろ家を建てたいけど何から始めたらいいかわからない」「どのくらいお金が必要?」と気になることがあれば、完成見学会や無料の家づくり相談会にぜひ参加してみてください。

設計士に直接相談して
想いをカタチに!